

(様式)

第 5 回かわにし市民会議 議事メモ

班	1 班「産業の活性化」
コーディネーター	荒井 英明
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2019 年 9 月 14 日(土) 13 時 00 分から 16 時 00 分
場所	保健センター 1 階集健室
その他	参加者数 13 名

趣旨・概要

提案書について各提案の意見交換
推進会議での発表者の決定

総括

コーディネーター総括

川西市は人間に例えると成熟した大人の街と感じた。川西市では自然と、何よりも人材が一番の魅力。この人材を活用することで、誇りを持てる街にすることができると思う。また、この会議で出た意見を提案書として提出し、その後どう街づくりに生かされるのかを見守っていくのが参加者の責任かと思う。

協議の流れ

1 提案書内容についての説明(部会員)及び意見交換

市) 意見提案シートと市民会議の意見を基に、部会員の意見も織り交ぜて職員でまとめた。出てきた言葉がそのまま提案書に入っているわけではないが、皆さんの意見を基に作ったものである。

【提案 1】子育て世代からシニア世代まで多様な働き方を可能にする環境を整える

市) 議論の中で、市内に働ける場所が少なく市外に働きに出ているといった話があったり、コワーキングスペースのナビゲーターのお話を聞いたり、シニア世代が子育て世代を手伝うという案が出たりと、この点についてはたくさんの意見が出たため優先順位が高いと判断して提案 1 とした。

話として出てきたテレワーク、ジョブシェアや隙間ビジネスは子育て世代やシニア世代の仕事のマッチングということで入れさせてもらった。「提案内容の具体的なイメージ」の中に、「川西型ジョブマッチング事業を企業と共同開発し実証実験を行う」と、提案しており、具体的には子育てに困っている人と、時間があり手伝える人をつなぐマッチングシステムを想定している。部会員の中ではフリーマーケットアプリの人材版をイメージしている。その他には企業誘致や起業家へのサポートも提案として

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

挙げている。

前回の会議も踏まえた意見

コ) 部会員がまとめたものを、更に深掘り及び整理をして班としての意見にする。まず、全体的に前回言い残したことがある人から。

参) 前回自分の意見話せていないことが心残り。その点がとても残念だった。

内容としては非常によくまとめられていると思う。川西市は大阪に近いのに西宮とかに比べると地価が安く、クリニックや商店もあり普段の生活に不便はないと感じている。やはり住宅都市であるといった点が売りであると考え。前回の会議で、猪名川に物流センターができるらしく、そこで働く人たちが川西に住んでくれたらという意見が出たが、その意見に賛成だ。

また、個人的に歴史に興味があり、川西は清和源氏をブランド化するしかないと思っている。東京の国立博物館にある国宝の源頼光の刀(童子切安綱)を市が借りて、一時的に川西市に里帰りをしたというニュースをテレビに取り上げてもらうのはどうか。それを企業誘致の有利な材料にし、活性化につなげる。

コ) 前は時間がなく、申し訳なかった。刀の話は間に合うか分からないが、文化歴史の班に持って行ってみる。また、川西市の売りは何だろう考えることはとても大切。やはり、川西市の売りは「人材」であると考え。

提案 1 についての意見交換

コ) まず、市民会議の議論でも一番色んな意見が出た提案 1 について意見をまとめる。市民は価値観が多様であるから、色んなサービスを求めている。川西にはサービスを提供する「人材」がある。例えばリタイアした世代の人や、育児のために仕事を辞めてしまった人など。サービスを求めている人と、働きたい人どちらにもニーズがある。ここの橋渡し(マッチング)しようという提案。例えば、3時間だけ働きたい人は、他の誰かとシェアすることによって、ビジネスが成り立つのではないか。それを取りまとめるのは、行政ではなく企業。これについて、いかがですか。

参) 子育てについてこのような意見を書いた。かつて住んでいた江戸川区に同じようなシステム(保育ママ)があったが、それは区が中心になって行っていたから信頼があった。大切な子どもを預けたり、何か食べ物を買ったりすると、信用がないと心配。システム自体は素敵だと思う。そういったことを行っている市には住みたくなるから、保証さえ確実にしてほしい。

コ) このサービスを行うには安心感が必要ということですね。子育て中の視点から見て、このようなシステムはどうか。

参) 自分はPTA活動や見守りを有償化することについて提案シートに書かせてもらった。やはり子どもを預けるとなると、安心感があつたほうがいいと感じる。しかし、PTA活動とかは子どもを直接預けるわけではない。働いている親が多い中、PTA活動は時

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

間的にも難しいため、時間がある人がやってくれるのはいい。実際池田市では保護者ではない人が PTA を手伝うといったことが始まっていると聞いたことがある。

コ) PTA についてはとても画期的でいい意見だと思う。もし時間があれば、こういった仕事をしてみたいか。

参) 現実的には、時短のパートを探すしかないと思うが、前回意見として出ていたフリーランスとしての仕事ができるのであれば、してみたいという気持ちはある。自宅や自宅近くのコワーキングスペースがあれば働きやすいと思う。

コ) シェアする仕事はどのような所にあると思うか。

参) 集まれる空間があったらいいのでは。公民館などのスペースがある所でいろんな人が集まって、世代関係なく交流もできるし、作業もできるかなと思う。

コ) ナビゲーターとして声をかけようと思っていたが、コミュニティナースという仕事をしている人がある。これは、在宅看護という形で看護師や保健師が回る仕事。役所だとフルタイムの雇用になってしまうが、これは資格を持っている人が半日だけのスケジュールで回ったりすることができる仕事。色んなところに隙間仕事があると思う。保育として子どもを預かるのも隙間だし、企業や NPO が子どもを集めて、スキルを持っている人がビジネスとして教える仕組みは川西市にどうだろうか。

参) サービスを受ける側にとっても、提供する側にとってもいいだろう。ジョブシェアはいいと思う。

コ) 例えばサービスを受けたい人は 10 時間のサービスを受けたい。提供する側は 3 時間ずつ色んな人が提供するのがジョブシェア、川西市はジョブシェアが合っていると思う。自分が教える側として来てくれと言われたらどうか。

参) そういう仕事があればありがたいと思うが、カタカナとか英語が多すぎて難しい。

コ) もう少し漢字を入れた方がよかったかもしれない。習い事とか。

参) あと、介護をしてもらったとすると、色んな人が交代にくると気を遣ってしまい、自分だったらそんなサービスはいらないう。

コ) そこが難しいところ。

参) 習い事として、お年寄りが若い人に教えたり、若い人がお年寄りに教えたりできるのはいい。その前段階として、今は自分も無償で、公民館で教えている。産業には一致しないが、色々教えてくれるといった点は川西の売りになると思う。しかし、無償で教えるのに、公民館で行事をやるのに使用料がかかってしまう。公民館が使用料を取るようになってから、教えることをやめる人が増えた。それは今の方針と逆行していると思う。

コ) 非常にいい意見。行政サービスは安心感もあるし、使用料も安いというのが前提。これが行き届かなくなってきたところは利用者に負担がかかってしまう。産業というテーマはそこにギャップが生じてしまう。安価でサービスを受けられるのはいいが、なかなか難しい。他の発想や意見がある人。

参) 陽明小学校は、学校を利用してコーディネーターが無償で生徒・先生を募って講座をやっていた。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

- コ) それは素晴らしい。それは以前 2 班のナビゲーターとして来ていた宮崎先生が全国で始めた。学校に地域の人を集めて、英会話や習字を教えてもらっている。地域の集いに学校を使う。今の発想は 2 班の方に入っているのでは。
- 参) ビジネスかはわからないが、基本ボランティアで 10 年ほど続いている。母親の読み聞かせボランティアもある。ビジネスにするには時間がかかるが、例えば読み聞かせをした情報をまとめて本にして販売してみてもどうだろうか。どんな本を読んだとか、どんな反応であったとか。お母さんはそこまではできないが、フリーランスの人がまとめたり印刷したりする事でビジネスにできるのではないかと思う。
- コ) 先ほどの PTA もそうかもしれない。PTA の事務そのものをビジネスにするのもあるが、PTA 活動で得た情報を集積して有償化することもビジネスとしてありえる。いい発想。この提案 1 が、このグループの目玉になるのではと考えている。川西の人材を生かしたサービスモデルを作り、それが全国に広まっていくと、それが新川西方式に繋がるかもしれない。
- 参) 今あるものを川西市は宣伝していないのではないかと思う。清和源氏もどのくらいの人があるのかを知っているのか。新しいものを作るより、もっとコマーシャルして今あるものをもっと前に出すことが大切と考える。
- コ) これは提案 4 にも繋がっていくかと思う。川西市に人を呼び込む材料になると思う。

【提案 2】農業の生産量を維持する

- 市) 川西市の特産品はイチジク・桃・菊炭であると認識されている方が多かったが、実際に食べたことが無い、もしくは使ったことがない人が多く、実際の購買行動に繋がっていなかった。ただ、今後農業の生産量を拡大していくよりは、今の生産量を維持して今あるものを大切にしていく方向で提案している。意見としては、記載の通りばら売りや企業商品とのコラボが出ていたかと思う。部会員の中では特産品について食べ物ではないものとのコラボや、スタバの期間限定商品として出してもらおうといった意見が出た。

提案 2 についての意見交換

- コ) 部会員は農業をこれ以上盛り上げるには無理があるという考え方で、「農業の生産量を維持する」という言葉を使っている。特産品を市内外に発信していくことについて、どう思うか。
- 参) 農地の関係で、イチジク農家を増やすことは難しいと思う。どうやって維持していくのが大切。どのように加工して提供してくのかということがネックになると思う。ケーキやシロップ漬けやジャムなど、そういったものを専門家と協議して作っては。イチジクはこんなに有効に使えるという宣伝して、川西を知ってもらおう。スーパーや道の駅や、朝市、夜市などに提供して、流通を豊かにする必要がある。西宮のレストランにイチジクの天ぷらがあった。スイーツだけでなく、食材として使える。考えれ
- 参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

ばいくらでも流通の可能性が広がるのでは。イチジクだけでなく、桃も同様だと思うが、桃はどこで手に入れたらいいのかわからない。買えない。そこが残念。

コ) 桃は維持ではなく、生産量を増やした方がいいのでは。

参) 農地のこともあるし、分からない。でも個人的にはイチジクより可能性あると思う。

コ) 市内産の桃を食べたことがある人

3人挙手

参) 桃は20日程しか生産の時期じゃない。近所の人にしか渡せない。すぐに柔らかくなってしまう。

参) 小さいから値段は普通。

参) 桃農家の知り合いがいるが、桃を作るのは本当に大変。簡単に生産できるものではない。本当にやるのなら、工場のような場所でシステム化して作るしかないのでは。

コ) であれば、桃の生産をジョブシェアに繋げることはできないか。簡単な仕事はシェアして、生産量高めることができないか。

参) 桃農家さんは朝4時から仕事している。イチジクはワインもある。川西は色んなものにイチジク使っている。

参) テレビでやっていたが、イチジクは100種類くらいある。日本ではその半分くらいが生産されている。川西のイチジクはブランドにはならないと思う。イチゴは「とよのか」とか、個々の名前を付けるくらいの優秀なものできている。川西のイチジクと言っても、どんなイチジクなのか分からない。ブランド化するなら、農業試験所とか大学とかで研究して、川西のイチジクを育成していかないといけない。その上で、川西のイチジクを宣伝していかないと。むやみに宣伝したからいいというものではないと思う。品質と数が大切。休農地があるという話も出ていたし、いいイチジクが作れるようになれば、みんなものってくるのでは。

コ) 来週産業振興ビジョンに農業のプロが来ていると思うので、品質上げて数増やすのはどうしたらいいのか聞いてみる。

参) イチジクは1年2年でできるので、改良しやすいのではと思う。

コ) そもそももっと美味しいものを作ろう、もっと数ができるようにしようという発想は欠けていたので、提案に付け加える。

参) イチジクというと、川西のイチジクを思い出すが、世界中にはたくさんのイチジクがあるから、特色を出すのがいいのでは。

参) 川西は桃とかイチジクとか言われているが、ブドウとか栗の方がいいと思う。上手に使えばそっちの方が産業としていけるのでは。

コ) 桃の時にもあったが、ブドウも作るのは大変。

参) ブドウであれば、ワイン工場とかも作れる。

コ) ブドウはあまり作ってない？

参) 個人でやっているくらい。聞いたことない。

コ) ゴルフ場の跡地が荒れ放題になっているらしいから、誰かがブドウをやったらいいか

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

もしれない。ブドウが簡単にできて、作る農家があるというなら提案に入れられるが、本当にできるかどうか、産業振興ビジョンで確かめてみる。「川西ワイン」という言葉の響きもかっこいい。

- 参) 世の中を見渡すと、果物の種類が集約してきており、決まった果物しか食べなくなっているらしい。維持する方針でいくのはすごく大事だと思う。どんな果物にするにしても、何かをずっとやってきたということが大事。いちじくを続けてきたのであれば、それなりの理由があると思う。気候があっているとか。ただ、子どもはイチジクあまり好きではない。行政にしてほしいのは、ずっと給食に出し続けてほしい。自分も昔イチジクは好きではなかったが、大人になってイチジクの天ぷらをポン酢と大根おろしで食べたらずごくおいしかった。工夫したら給食に出せると思う。また、一年に一回給食で出たら、川西はイチジクという印象がつく。また、すごい風水害がきたら作りにくくなる地域も出てくると思う。その中で川西が作り続けられたら、いつか脚光を浴びる時がくると思う。また、歴史を大切に作る町ということで、繋がりを持たせられる。
- コ) 戦略としてありだと思う。私もなんでイチジクを作っているか不思議だった。イチジクは水が大切。猪名川の水が細くなってしまうくらい、水を使う。市民のみんなが食べないとだめ。
- 参) 農家の話でずっと不思議なのが、お米の話が全く出てこない。水田はあるはずなのに、地元の米が地元で買えない。源氏米というものを作ってほしい。イチジクよりも米の方がいい。
- コ) これも産業振興ビジョンの時に、お米があまりないのか聞いてみる。起伏があるからか
- 参) 笹部が有名な棚田だった。朝に行くと景色がいい。耕作面積や農家の規模も違うから、なかなか大変なのかもしれない。
- 参) 私も同じ意見で、提案書に米について入っていない。生産緑地は米のことだと勝手に思っていた。個人的に、川西の中ですごく心に残っている風景は、水田の風景(多田大橋の反対側のゴルフ場とパチンコ屋の間)。生産緑地がなくなることで、その風景まで違うものになってしまう事に危機感を持った。「その他の意見」に入っている生産緑地についての案を、個人の意見に持って行って、生産緑地がなくなるといった情報の発信をもっとしてほしい。
- コ) 農地を生産緑地という言葉を使うか、農地を守るという言葉にするかは考えるとして、お米については産業振興ビジョンで聞いてみる。そこで、市内である程度お米を作っていることが確認できれば、イチジクと同様に市内産の米をもっと大事にするよう、あるいは源氏米と名付けるよう提案書に入れられるように一週間で調整する。ただ、国は新たに田んぼを作っちゃいけないとしている。
- 参) 今から50年ほど前は、加茂・下加茂・栄根はみんな水田だった。伊丹の道を作るために、全て無くして今は宅地になってしまった。大変なわりに高く売れないと聞いた。大変らしい。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

【提案3】交通の利便性を生かして集客施設を誘致する

市) 第4回市民会議でたくさん意見が出た内容の提案である。

複合レジャー施設やインターチェンジのハイウェイオアシスを誘致。ただ、川西市が大きく変わるという点もあり、賛成・反対の意見が沢山出ると考えられ、すぐには難しいのではないかと。

提案3についての意見交換

コ) 今までの話とは少し変わって、市外の人達に川西市に来てもらうことが目的。大きな話では川西インターチェンジ周辺の土地の活用、これはこのグループとしてたくさん意見が出たから、提案書に載せたいと思う。産業ビジョンにはネーミングをしてほしいと依頼している。提案書に「集客施設を誘致する」とあるが、どんな施設があったら来てもらえるか。

参) キセラ公園は大きな遊具はなく、すごく残念だったという思いがある。川西は自然が豊かだから、自然を生かして大きな楽しめる公園とか、レジャー施設があれば嬉しい。市民はもちろん、大阪の人たちの自然に触れたい人もすぐに来られる立地だから良いと思う。

コ) キセラ公園に遊具を整備してはどうかと提案してみてもどうか。

参) キセラ公園が出来る前に、万博公園を勝手に想像していた。でも実際できたら日陰もなくすごく暑い。小さい子ども用・大きな子ども用の遊具スペースを作って、わくわくできるようなものにしてほしい。ドラゴン公園は涼しいけど、遊具はそんなにない。管理棟のようなものではない日陰もほしい。

コ) 道を挟んでショッピングモールができたから、親が買い物している間に遊べるという使い方もできる。魅力的な公園だと思う。では、ここでは「自然を生かした集客施設を誘致する」と「今ある公園を魅力ある公園にし、市外の人にも来なくなる公園にする」とする。それによって隣のショッピングセンターにお客さんがこれば、産業に結び付く。

参) 舎羅林山に自然を生かしたネスタリゾートのような規模のものができたら面白い。市が運営するとあまり魅力的なものにはならないから、そういうものを扱う企業に入ってもらってするほうがいい。場所的には悪くないと思う。

コ) 大阪と神戸からの距離は非常に魅力がある。その自然と距離感を生かしたものを作るのがいい。誘致だけしてあとは企業にやってもらうのがいい。壮大なビジョンだが、川西市にとっては非常に大きなターニングポイントになる。

参) キングコングの西野くんが川西市内にレジャー施設を作りたいと言っていたし、東京のケーキ屋で川西のイチジクを使った商品が出ていた。実際に動き出している人との会議の話し合いが繋がっていけば、現実性を持てるのかなと思う。動いている人は動いているので、知名度がある人に乗っかるのも一つの手だと思う。

参) 川西インターの近くに住んでいるが、場所的にちょっと奥まっているから産業施設と

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

かは難しいのでは。それよりも、スポーツセンターのようなものを作って、それに関連したお店を作るのがいい。

コ) 複合レジャー施設という言葉に、スポーツというキーワードも入れた方がいいという意見ですね。現在、産業振興ビジョンの会議では産業エリアにした方がいいと提案をしているが、産業よりも、人が楽しむ施設のほうがいいと思うという意見も提案してみる。

参) 集客施設の中で、スポーツという意見もあったが、健康よりの施設はどうか。治療ではなく、予防とか診断に特化した施設。川西市は色んな年代の予防とか診断を大切に考えていて、そのような施設があり、アクセスもいいという点を出すのはどうだろう。川西市は医療施設が結構あるように思っているが、パチンコ店が多いとも思っている。パチンコが増えるよりも、市民が健康に気を付けているというイメージが持てるほうがいい。ただ、3年でできるとは限らない。

コ) ビジョンは3年でできるかもしれない。健康のための施設・楽しめる施設というのは、市民の人ならではの発想。自然を生かしたセラピーとセットにして、一泊二日の健康コースという提案もいいかもしれない。

【提案4】川西市の交流人口と消費額を増加させる

市) 交流人口とは、川西市に遊びに来てくれる人口。消費額とは、その人達が市内で消費してくれる額。

市民会議で意見としてあったが、源氏祭りや一庫マラソンで人が歩いているだけでは勿体ないため、お店を出して盛り上げられたらいいのではと考え、出店を提案した。また、川西池田～能勢口でのイベントや駅名を変えることも提案。夜市の開催は部会員の意見。

提案4 についての意見交換

コ) 提案4は、提案3とも少し被るが、川西市に買い物に来てもらうことによって、市外の人を川西市に呼び込み、市民は市内で買い物をしましょうということが目的。市内にあるものだったら、市内で買いましょうという働きかけをここから提案しては。この活動にいいネーミングはないか。また、川西市の中にあるのに、川西池田駅はちょっと不自然。川西駅もしくは、新しい駅名にするのはどうか。

参) 名前を変えて、どう産業と結びつくのか。個人的にはどっちでもいいが、そこにお金を使うのはどうかと思う。何がメリットなのか分からない。

コ) メリットとしては、市民のアイデンティティ。川西市への想いが高くなるのではないかと思う。川西を誇りに思うことが大切。

参) あの駅はJRの駅だが、市民が変えてほしいと言って変えてもらえるものなのか。

コ) 要望はできると思う。本当にやるかは別。やってもらいたい。

部) 補足として、軽く調べただけではあるが、駅名を変えるのに、要望者にお金が請求されるらしい。安くて数十万円だが、これは別の付加価値があるケース。大体は数億円。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

よって、変えることのメリットを要望側から説明するか、クラウドファンディング等で要望したい人からお金を集めるという方法があるかと思う。

コ) 駅の表示板を全て変えたりするのにお金がかかる。クラウドファンディングというのは、お金を払ってでも駅名を変えたいという市民の方がいれば、一口何万円でも市民の方が協力して、そのお金で駅名を変えるという提案。集まらなかったら諦める。

コ) さっき話した、市民が市内でもっと買い物するいいネーミングありませんか。厚木市では数十年前からやっているが、ネーミングが「愛市購買運動」。もっと今風に、いいネーミングはないか。

参) 「ちょっと近くでお買い物」とか？

参) 健康に結びつけるのであれば、「歩いてお買い物」「ウォーキングショッピング」とか。

コ) 大型ショッピングセンターはたくさんの店があって楽しいが、近くの店を使ってあげないとだめ。市内でできたものを市民のみなさんが買うことが大切だと思う。厚木市は日産の開発センターがあり、やっぱり日産の車が多い。また、ソニーの研究所もあるから、電化製品はほとんどソニー。市にあるものを買うことが大切だと思う。

3 参加したことについての感想

コ) 最後の時間を使って、ここに参加してどうだったか感想を一言ずつ。

参) 市の関係の仕事に初めてさせてもらった。今の市長は期待できるという気持ちで参加した。みんな色々な意見があって、なるほどと思う。これからももっと川西のために良くなるように考えていきたい。

参) 色々なことを考えて、市民でありながら知らないことが沢山あったので、いい機会を与えてもらって感謝。意見は意見として、出来ることと出来ないことあるけれども、いい意味で発展してほしい。この会が有効な会になればいいと思う。

参) 川西に長年住んでいたけど、こんなことに参加したのは初めてで有意義だった。参加者を無作為で選んだのもいいけど、募集してもよかったかも。もっとやりたい気持ちがあった人もいたと思う。それも一つの方法だったのでは。いい意味での川西の一步を踏み出せたのでは。私も勉強させてもらったし、市の行政としても市民の意見を聞いて良かったのでは。これからも機会があればお願いしたい。

参) 参加してよかった。一人ひとりこんな意見を持っているのだから、川西市民はたくさん意見持っていると思った。川西市っているんなところに興味を持っている人が住んでいると思う。一般の人と専門の人が一緒になってする会議があっても面白いと思う。

参) 最初はこの会議どんな会議なのだろうといった興味と、正直図書カードにつられたが、参加してみて色々な人の意見を聞いて、これを機に良くなっていったらいいなと思った。

参) 産業について何話したらいいか分からなかったけど、みなさんの意見を聞き、また、荒井さんに誘導してもらって、だんだんこうしていきたいということが分かってきた。これが少しでも叶ったら嬉しい。叶わなかったときに大変だと思うので、市長にはか

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

なり期待している。

参) 川西に住んで年数浅い中での参加だった。知らないことをたくさん知れる機会だったし、たくさん意見を聞いて勉強になった。市民の意見を本当に反映してもらえるのか、少し不安ではある。

参) 1 回目は様子見の参加だったが、なんだかんだ毎回参加させてもらっていた。リタイアされた方から子育ての世代まで、こんなに色々な人が集まるものだなと思った。また、どの方も「意見どうですか」と話しを振られても、「よく分からない」と答える人がいなかった。みんな川西のことが好きなのだなと思った。とても勉強になった。

参) 毎朝 1 時間半散歩して、一日 2 万歩く。それ以外は娘の家行ったりボランティアしたり。この会に参加してから、散歩しながら街中を考えながら歩くようになった。色々な年代の人の意見を聞けたて参考になった。高齢者について、75 歳くらいまで現役で働いてもらうようになるだろう。高齢者介護の先進的なエリアができてもいいのでは。

参) 最初手紙をもらった時は先駆的なイメージを持ったし、意見を聞きたいと言ってくれたことがありがたい事だと感じた。参加したら、これまで知りえなかったお話が多くて、家でよく話していた。今回はたまたま参加できたが、次回またこんな会議があれば、ぜひ傍聴だとしても参加したい

参) 最初の班編成については、やはり参加者の希望を聞くようにしてもらいたい。産業の活性化という大きなテーマは市民会議にふさわしかったのか疑問に思う。市議会でも持て余す内容ではないか。テーマもっと細分化した方がよかったと思う。市議会とどう当たりをつけるのか、すごい興味がある。実現したらいいなという意見があるが、予算のこととかを考えると、最初から市議会巻き込んでおくべきではないかと思う。いい経験だった。

参) 色々な人の意見を聞くことができ楽しかった。ただ、初回に参加していた高校生が小学校の時の教え子だったのだが、二回目以降来なくなってしまったことが残念だった。多分ビビってしまったのだと思う。今後またこういった会議があれば、そういう若い人の意見もこういう場で反映できるようになればいいと思う。

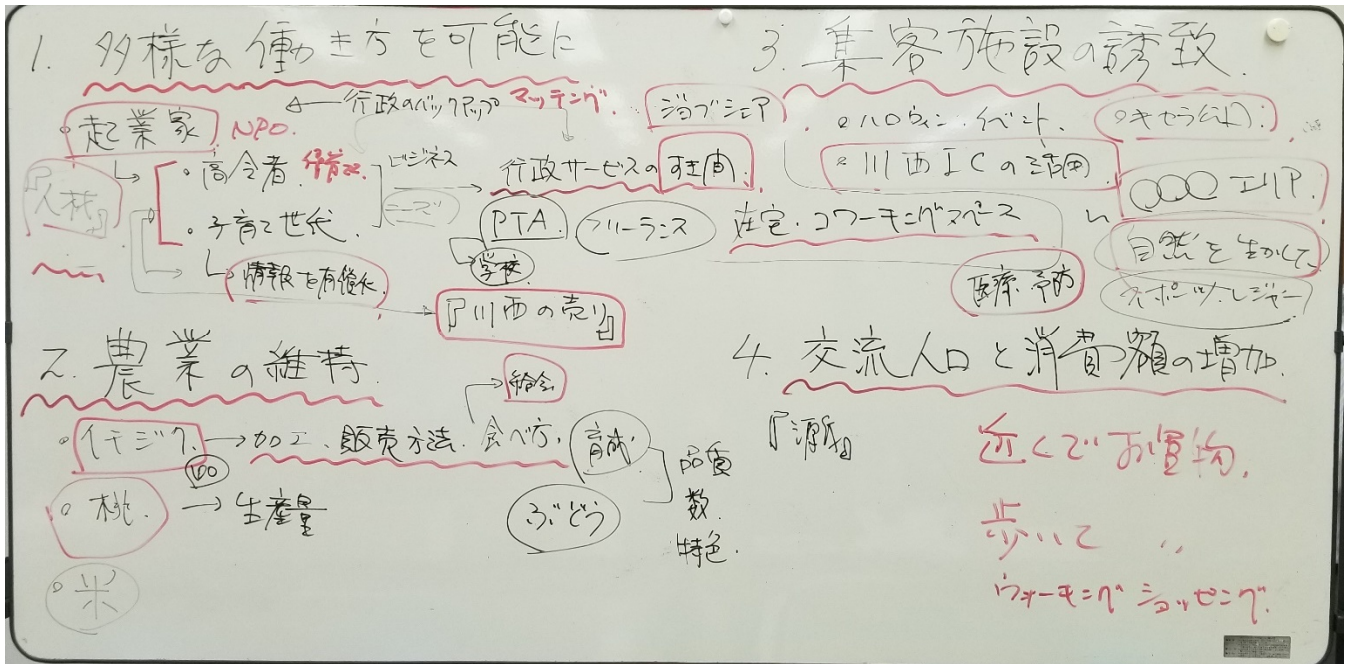
参) 川西も人口が減って行って、お年寄りが増えていく。そういった人たちのことも考えていかなければと思う。また、人口が少なくなれば子どもも少なくなるので、空いた学校の教室の活用方法も何かあれば。病院の待合室の待遇がもっとよくなればいいなとも思う。

コ) みなさん、様々な観点からご意見をいただき感謝する。川西市にとっての初めての会議だったため、改善すべき点もあったと思う。特に、高校生の子が来られなくなってしまったのは少し可哀そうだった。もし自分も次回以降携わらせてもらえるのであれば、もっと複数人の高校生を入れて、意見が言いやすい雰囲気づくりをすることも大切と思った。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

ホワイトボードの写真



参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者